



# 地区防災計画をつくってみませんか？

## 防災研修会を開催しました

八潮市では、地域の防災力向上を図るため、自主防災組織を対象に防災研修会を毎年開催しています。

今年度は、地区防災計画をテーマに研修会を開催しました。

研修会では、東京大学加藤孝明教授による講演、昨年度、八潮市で初めて地区防災計画づくりに取り組んだ柳之宮自主防災組織狩野会長による事例報告、大山市長を交えてパネルディスカッションを行い、構えず気軽に地区防災計画の作成に取り組んでいくことがポイントであることなどを学んだ大変有意義な研修会となりました。

### 【プログラム】

- 1 東京大学 加藤孝明教授による講演  
「地域から始める防災【も】まちづくりのすすめ」
- 2 柳之宮自主防災組織 狩野会長による報告  
「地区防災計画づくりの取組」
- 3 パネルディスカッション  
「地区防災計画をつくってみませんか？」



1



東京大学 加藤孝明教授

### 講演

## 「地域から始める防災【も】まちづくりのすすめ」

目指すべきは

- ・みんなの力を最大限発揮できる地域社会づくり
- ・得意なことを得意な人ができる地域社会づくり



### 【会場からの質問】

1. 最近の災害を振り返る  
実際に災害が発生したときの状況を想像する力がないと、適切な災害対応をとることは難しい。  
最近の災害を振り返り、普段の暮らしの中で、災害時の状況を想像することが大事である。
2. 地区防災計画づくりについて  
地区防災計画は「あるもので何とかする」という視点で、地域の資源を活かした計画とすることが大事である。  
防災だけで、まちづくりが進んだ例はない。  
地域の中で大事なことと防災をセットで考えていくことが大切である。

Q【上大瀬地区防災会】：過度な報道など、周囲から受ける情報にどのように対応すればいいか。

A【東京大学 加藤教授】：科学的には首都直下地震が起きた時に、まちがどうなるか正確には分からないことが多い。  
世の中正しい情報だけではないので、外からの情報を鵜呑みにするのではなく、それを刺激として自分自身で情報やリスクをそしゃくし考え直すことを習慣にすると良い。

## 柳之宮地区の地区防災計画づくりの取組について



### 1. 作成のきっかけ

既存の防災計画が古く、水害に関する内容がなかったため、市の支援を活用して防災体制の見直しをしたい。

### 2. 地区防災計画ができるまで

令和元年度に計6回の検討会を行った。自主防災会員の他に、子ども会、福寿会など、延べ30名の方が参加し、幅広い年代の方が作成に関わった。

### 3. 地区防災計画の内容

本部の活動、災害時の活動体制、情報伝達の方法、震災時・水害時の具体的な活動などを定めた。特に、まち歩きを行い、地域の中で危険な箇所（ブロック塀や水路など）や、資源となる箇所（一時避難場所で使える場所など）をまとめた、柳之宮地区独自の防災マップを作成した。

### 4. 今後の課題

作成した地区防災計画をどのように会員、幅広い年代の方への浸透を進めていくか。  
一人ひとりが危機意識を持ち、自分ごととして捉え、防災活動に取り組む地域づくりを進めていきたい。

## パネルディスカッション

【狩野会長から加藤教授への質問】



Q:防災訓練など、今まで参加していない人にも参加してもらうために、どのような取り組みが考えられるか。

A:「浸水と親水」というキーワードを掲げ、水遊びを楽しみながら訓練に取り組んでいる地区があります。本人たちが楽しく活動を続けることで、参加者がじわりじわりと増えていきます。

【Q:これから地区防災計画を作るとしたら、特にどんなことを大切にすると良いですか】

A【柳之宮自主防災組織 狩野会長】:まち歩きを行うと、参加した皆さん全員が自分から情報を見つけようと能動的になり、よりよい話し合いができる。最初は、まち歩きを行い、防災マップ作りから取り組むと良いのではないかと。地域の幅広い年代の方に参加いただくことが大切です。

A【東京大学 加藤教授】:防災だけのまちづくりは限界があります。地域の皆さんが地域で大事にしていることや地域にあるものは何かを改めて共有し、「普段の暮らしの中で防災にも活かせるところがないか」という視点で考えると良いと思います。

A【八潮市 大山市長】:「計画を作る」って構えとなかなか取り組みづらいので、いきなりハードルを高く設定せず、自分たちのまちを1度見直してみるからスタートすると良いと思います。また、実際に歩いてみることで、自分たちのまちの良さや今まで気づかなかったことが見えてきます。情報を共有しながら、和気あいあいと計画を作っただけであればと思います。

### ●地区防災計画とは・・・

一定地区内の居住者や事業者等が、災害時に自分たちのまちに起きることを想定し、そのための準備と自発的な防災活動についてまとめた計画です。

令和元年度に八潮市で初めて柳之宮自主防災組織が地区防災計画づくりに取り組みました。

【発行】八潮市生活安全部危機管理防災課地域支援担当  
電話:048-996-2111(代表)/ FAX:048-995-7367

できることから始めてみてください！  
八潮市は、地区防災計画の作成に取り組む皆さんを支援します！